



黒川小学校
5年 小田嶋 樹さん

協力し、がんばった米作り

図画の部 最優秀賞作品



1月30日、農業委員会総会後に、農業委員会研修会を開催しました。研修会の目的は、農業者年金の現状を把握し、加入推進の取り組みについてと農地法改正に伴うポイントについて理解を深めました。

当日は、秋田県農業会議から講師を招き、政策に対する説明を受け、その後、農業委員との質疑応答がありました。

農業者年金と 農地法改正の ポイントを学ぶ

第52回秋田県 農業委員会大会開催

恒例の秋田県農業委員会大会が平成20年10月31日に種苗交換会にぎわうにかほ市象潟体育館を会場に開催され、横手市農業委員会からも農業委員が出席しました。

大会では、次の3つの議案が審議され、いずれも満場一致で可決されました。

● **議案第一号**
持続可能な農業経営の確立に関する要請

● **議案第二号**
秩序ある農地制度・政策の確立に関する要請

● **議案第三号**
「輝ける秋田の農業・農村づくり運動」の推進に関する申し合せ決議

決議された要請事項を確実に実現するために次の要請活動を行います。

① 決議事項を要望書に作成し、速やかに

に政府、国会並びに関係当局に対して要請する。

② 12月3日に全国農業委員会会長代表者集会時に、県選出国会議員に対する要請活動を行う。

③ 全国農業会議所が主催する平成21年度の農林・農委予算確保対策活動などに参加し、要請活動を行う。

**こんな時は、
農業委員にお気軽に
ご相談ください！**

農業委員は農家の目線に立って、次の相談をおこなっています。

相談内容

- 経営規模拡大
- 農地を売りたい
- 農地の貸し借り
- 農地転用
- 農業者年金
- 農地と税金
- 相続と農地

農業委員は、農業者の代表として、また地域の世話役として皆さんからのご意見・ご要望・ご質問に応じていきます。また、相談内容については、秘密を守りますので気軽にご相談ください。

しっかり積み立てて 安心な老後生活を 農業者年金に 加入しましょう



農業者年金は、少子高齢化に即応した農業者の公的年金です。また、農業者が積み立てた原資とその運用益により、生涯に渡り年金が受けられる「確定拠出型積立方式」です。

こうした優位性のある農業者年金に、是非とも加入していただきたく、資格やメリットなど疑問にお答えします。

老後の家計費と年金

老後の家計費は、世帯主が65歳以上の夫婦2人無職世帯で月額23万7千円かかっています。(平成20年家計調査) 農業者の皆さんが加入している国民年金の支給額は、40年加入で月額6万6千円、夫婦あわせて月額

約13万2千円です。国民年金だけでは月額10万円以上不足することになってしまい、老後の生活を自分で準備することになってしまいます。

そのための農業者年金です。

加入資格

- 国民年金の第一号被保険者
 - 年間60日以上農業に従事している方
 - 20歳以上60歳未満の方
- この3つの要件を満たせば、どなたでも加入できます

農業者年金のメリット

- 農業に従事する人なら者なら広く加入できます
- 60歳未満の国民年金第一号被保険者であって、年間60日以上農業に従事する者であれば、誰でも加入できます。

- 積立方式で安定した財政運営を行います

将来受給する年金原資は、自らが積み立てる方式とし、少子高齢化の進展にも対応でき、長期に安定した制度になりました。

- 保険料に手厚い国庫補助(政策支援)があります

認定農業者等一定の要件を備えた意欲ある担い手に対し、月額2万円の保険料の内1万円、6千円又は4千円が国から補助されます。(年齢制限有り)

○保険料を自由に選択できます

保険料の国庫補助(政策支援)を受けない場合、保険料を月額最低2万円から最高6万7千円まで千円単位で自由に選択できます。

○税制の優遇措置を利用した節税効果があります

農業者年金は公的年金であるため、その保険料は全額、所得申告等の社会保険料控除の対象となります。

○80歳までの保証付きの終身年金です

加入者や受給者の方が80歳以前に死亡した場合には、80歳まで受け取るはずであった年金の現在価値相当額を死亡一時金として遺族の方が受給できます。

農業者年金への加入内容申込みやお問い合わせについては、**農業委員会又はJAへ**

編集後記

先日、委員会の帰り道、降りしきる雪の中、梵を担ぐ二団の脇を通った。札に書かれている文字を見た。何と「市民生活向上」と読める。奉納祈願と言えば昔から、「五穀豊穡 家内安全 商売繁盛」等が決まり文句では? テレビでは学業の神様、大宰府天満宮に「就職成就」祈願のFAXが最近多く寄せられていると報じていた。百年に一度と言われる世界規模の経済金融危機。大手企業の相次ぐ派遣社員雇用切りには心が痛む。寒中に雪の降らないこの冬は、有り難いことだったけれども、どこかおかしい昨今の世相である。しかし金融危機の貧には、毎度慣れている我が家の生計。世界恐慌にもめげず、農家ならではの自給自足の暮らしに、今はただ感謝あるのみ。

農政情報策定委員
山内地区 高橋 幸子

農政の動きをキャッチ!

全国農業新聞

発行日/毎週金曜日
購読料/1ヶ月 600円
申込み先 地域局産業振興課又は
農業委員会事務局まで